

科目名 (科目番号)	スポーツ医学(外科系)	教員名 鎌田浩史 永井 智	学科等	理学療法	選択	履修年次	2
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
	授業形態		演習	オフィスアワー	非常勤講師		
授業概要	スポーツ活動中に発症しうる外傷・障害や疾病に関する基礎知識、さらに、これら外傷・障害や疾病からのスポーツへの復帰プロセスで留意すべき点について学習する。						
目的・目標	スポーツ活動中に発症しうる外傷・障害や内臓諸器官の疾病、更には重篤な外傷や疾病に関する基礎知識について理解する。また、これらの外傷・障害・疾病からのスポーツへの復帰プロセスで留意すべき点を理解し、関連医療職とのコミュニケーションを円滑にすすめるための知識と態度の習得をねらいとする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1-2	上肢の代表的なスポーツ外傷・障害	到達目標:代表的な上肢のスポーツ外傷・障害の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:代表的な上肢のスポーツ外傷・障害(肩関節・上腕部)の病態特性と対処方法について学習する。				
	3-4	上肢の代表的なスポーツ外傷・障害	到達目標:代表的な上肢のスポーツ外傷・障害の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:代表的な上肢のスポーツ外傷・障害(肘関節・前腕・手・手指・上肢の絞扼神経障害)の病態特性と対処方法について学習する。				
	5-6	下肢の代表的なスポーツ外傷・障害	到達目標:代表的な下肢のスポーツ外傷・障害の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:代表的な下肢のスポーツ外傷・障害(骨盤・股関節・大腿部)の病態特性と対処方法について学習する。				
	7-8	下肢の代表的なスポーツ外傷・障害	到達目標:代表的な下肢のスポーツ外傷・障害の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:代表的な下肢のスポーツ外傷・障害(膝関節・下腿部・足関節・足部)の病態特性と対処方法について学習する。				
	9-10	頭頸部・体幹の代表的なスポーツ外傷・障害	到達目標:代表的な頭頸部・体幹のスポーツ外傷・障害の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:代表的な頭頸部のスポーツ外傷・障害(頭部・頸部・胸部部・腰部)の病態特性と対処方法について学習する。				
	11-12	スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病	到達目標:頭蓋骨骨折、脳損傷、脳振とう、脊髄損傷、大出血の病態特性を知り、正しい対処法について理解する。 学習内容:頭蓋骨骨折、脳損傷、脳振とう、脊髄損傷、大出血の機序、現場での対応、予防対策について学習する。				
	13-14	スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病	到達目標:労作性熱中症の病態特性を知り、正しい対処法について理解する。 学習内容:労作性熱中症の機序、現場での対応、予防対策について学習する。				
	15-16	スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷	到達目標:スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷の病態を知り、正しい対処方法について理解する。 学習内容:スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷の病態特性と対処方法について学習する。				
	成績評価の方法・基準	筆記試験(100%) ※対面・オンライン共通					
教科書	アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論		河野 一郎 片寄正樹		文光堂		
参考図書							
教員からのメッセージ	(公財)日本スポーツ協会アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の資格取得に必須の科目であり、授業内容はかなり専門的内容となります。授業内容を理解するためにも予習・復習が大切です。 JSPO公認スポーツドクターならびにJSPO-ATとして登録・認定後8年を経過している教員がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						